

March 23, 2020

【前日の為替概況】ドル円、アジア時間安値 109.34 円から 111.51 円まで上昇

20日のニューヨーク外国為替市場でドル円は4日続伸。終値は110.93円と前営業日NY終値(110.71円)と比べて22銭程度のドル高水準だった。アジア株の上昇を受けて、ここまで急ピッチで続いたドル高の巻き戻しが先行し、日本時間夕刻に109.34円まで反落した。新型コロナウイルスの感染者急増を防ぐために、カリフォルニア州やニューヨーク州などが相次いで出勤禁止令を出すと、440ドル超上昇していたダウ平均が失速し990ドル超下落。WTI原油先物価格が一時22%超急落し2002年2月以来約18年ぶりに20ドルを割り込んだことも意識されて、再びドル高が進んだ。投資家が株式や原油などリスク資産から資金を引き揚げる動きは止まらず、111.51円まで上昇した。

米連邦準備理事会(FRB)は、「日銀やECBなど他の5中銀を対象に、米ドルの資金供給策を拡大する」と発表。FRBは5中銀を通じて日欧などの民間銀行にドルを融資しているが、これまで週1回のペースだった1週間物のドル供給を、23日から1日1回に増やす。16日の第1弾に続く措置で、国際金融市場の不安を抑える狙いだ。なお、金融市場では「ゴールドマン・サックス(GS)がレポートで、4-6月期米国内総生産(GDP)を前期比年率24%減と予想した」こと、来週26日に発表される新規失業保険申請件数について「GSは225万件と予測」「バンク・オブ・アメリカは300万件と予測」ことが話題になった。

ユーロドルは小幅ながら4日続落。終値は1.0688ドルと前営業日NY終値(1.0692ドル)と比べて0.0004ドル程度のユーロ安水準。アジアや欧州の株式相場が上昇したことで、投資家のリスク回避姿勢が和らぐとの見方から、欧州市場序盤には1.0831ドルまで値を上げた。NY市場では米国株や原油価格の下落を受けて再びユーロ売り・ドル買いが優勢に。日米欧など6中銀によるドル資金供給策の発表にドル高抑制の効果はなく、市場では「金融市場の動揺で基軸通貨の需要が高まっている。ドルが驚くほど上昇している」との指摘があった。1.0638ドルと2017年4月以来2年11カ月ぶりの安値を更新した。

ユーロ円は続伸したものの、ドル円とユーロドルの値動きの影響を同時に受けたため、相場は方向感が出なかった。終値は118.53円と前営業日NY終値(118.37円)と比べて16銭程度のユーロ高水準。一時117.85円まで売られた後、119.30円まで反発した。

【本日の東京為替見通し】ドル資金争奪戦とFRBによるドル資金供給拡大との攻防か

本日の東京市場のドル円は、ボルマゲドン対策としてのドル資金争奪戦と米連邦準備理事会(FRB)によるドル資金供給拡大との攻防が予想される。

現状の外国為替市場では、世界的な資産市場の下落を受けたマージン・コール(追証)発生によるドル需要(約12兆ドル)や四半期末に向けたドル建て債務の借り換えによる「ドル・クランチ(ドル不足)」などで、ドル資金の争奪戦が繰り広げられている。

世界同時株安の損失穴埋めで、「リスクパリティ戦略」の資金の避難先である債券市場や金市場の売りに波及し、原油市場の下落も伴い、世界の資産市場からは約25兆ドルの富が失われ、約12兆ドル規模のマージン・コール(追証)が発生したことで、ドル資金の確保、争奪戦が外国為替市場のドル高に繋がっている。さらに、世界の株価急落で信用収縮が悪化し、ドル建ての債務の借り換えが困難となる「ドル・クランチ(ドル不足)」もドルの争奪戦に拍車をかけている。しかしながら、FRBが日銀・欧州中央銀行(ECB)・イングランド銀行(BOE)など5中銀に対するドル資金供給の拡大していることで、鎮静化する可能性が警戒されている。

また、3月期末決算に向けては本邦勢によるレパトリエーション(国外滞留資金の本国環流)による、外貨売り・円買い圧力も強まることで、ドル円の上値は限定的か。

新型コロナウイルスのパンデミックを受けて、米国4-6月期実質国内総生産(GDP)が大幅マイナス(GS予想は-24%、ブロード米セントルイス連銀総裁は-50%)、26日に発表される新規失業保険申請件数が225~300万件、さらに2月失業率が20%へ上昇すると予想されている。すなわち、有事のドル買いがおさまった後の米国のリセッション懸念が高まっていることも、ドル買い継続への警戒感を高めている。

しかし、日本経済も、2019年10-12月期実質国内総生産(GDP)の前期比年率-7.1%に続き、1-3月期GDPは新型コロナウイルスのパンデミック、4-6月期もオリンピック中止・延期懸念でマイナス成長となる可能性が高まっており、リセッション(景気後退)に陥る可能性が警戒されている。日本経済がリセッションに陥った場合、日本売り(日本株売り・円売り)が継続する可能性に要警戒となる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

特になし

<海外>

- 14:00 ◎ 2月シンガポール消費者物価指数（CPI、予想：前年比 0.5%）
- 17:30 ◎ 2月香港 CPI（予想：前年同月比 1.6%）
- 21:30 ◇ 1月カナダ卸売売上高
- 24:00 ◎ 3月ユーロ圏消費者信頼感指数（速報値、予想：▲13.0）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

【前日までの要人発言】

20 日 09:56 エブラルド・メキシコ外相

「ポンペオ米国務長官との会談で米・メキシコ間の国境を閉鎖しないよう提案」

「新型コロナウイルスの対策として貿易や経済活動に支障のないよう行うことを共有」

20 日 10:40 ホークスピー・NZ 準備銀行(中央銀行、RBNZ)

総裁補佐

「次の刺激策は量的緩和(QE)であることは明白」

「必要ならばさらなる政策の準備と意思がある」

20 日 15:28 馬駿中国人民銀行中央銀行金融政策委員

「預金準備率の引き下げ余地は比較的大きい」

「ターゲットを絞った預金準備率の調整可能」

「必要に応じた公開市場操作の拡充が可能」

20 日 16:34 フォンデアライエン欧州委員長

「ユーロ圏各国はコロナウイルスに対処するための財政投入が必要」

「コロナウイルスへの支援で必要となるすべてのツールを視野に入れている」

「税制規律を緩和へ」

「支援となるならコロナウイルス支援のための債券の利用も」

「交渉担当のバルニエ氏が病気で英離脱交渉を継続」

20 日 23:10 ムニューシン米財務長官

「納税申告期限を 4 月 15 日から 7 月 15 日に変更」

21 日 00:23 クオモ NY 州知事

「州内の労働者は全員在宅に」

「NY 州での新型コロナウイルス感染、前日から 2950 人増の 7102 人」

21 日 01:35 トランプ米大統領

「ウイルスの援助を自社株買いには使ってほしくない」

23 日 06:23NZ 準備銀行(RBNZ)

「量的緩和(QE)として今後 1 年間で最大 300 億 NZ ドル相当の国債を買い入れる」

23 日 06:25 ブラード米セントルイス連銀総裁

「米 GDP は第 2 四半期に-50%となる可能性」

「米失業率は第 2 四半期に 30%まで上昇する可能性」

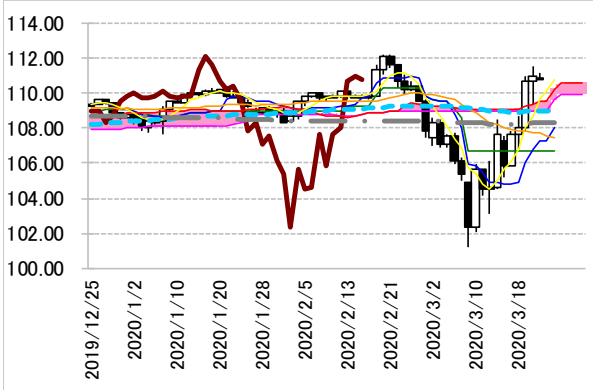
23 日 07:26 トランプ米大統領

「新型コロナウイルス(Chinese Virus)に対抗するためのあらゆる資源を集める」

「ウイルスへの勝利は予想よりも早期となろう」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

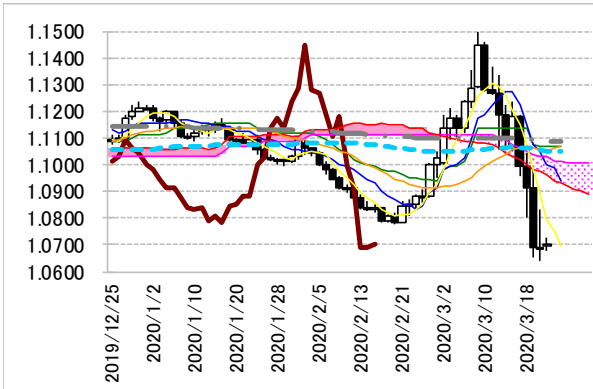


<ドル円=雲の上限を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。毛抜き天井（112.23円・112.19円）を上抜けることが出来るか否かに要注目か。

本日は、雲の上限を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	112.23(2/20 高値)
レジスタンス 1	111.51(3/20 高値)
前日終値	110.93
サポート 1	109.51(日足一目均衡表・雲の上限)
サポート 2	108.97(日足一目均衡表・雲の下限)

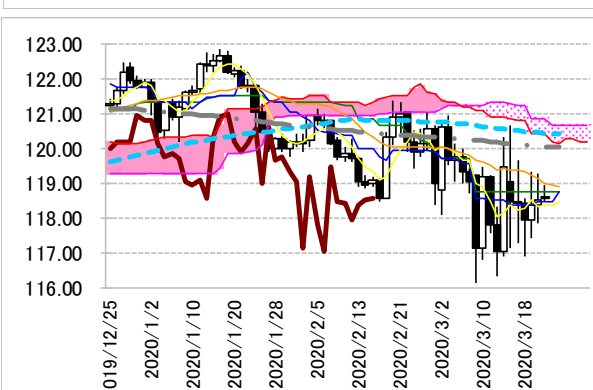


<ユーロドル=3/20 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

小陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。2017年4月窓を下抜けており、下落トレンド継続の可能性が示唆されている。

本日は、3月20日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.0831(3/20 高値)
前日終値	1.0688
サポート 1	1.0570(2017/4/10 安値)

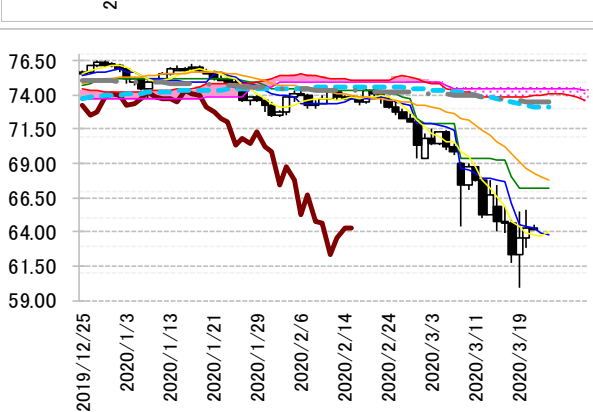


<ユーロ円=3/19 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかし、2手連続陽線で転換線上で上抜けており、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、3月19日安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	119.69(3/17 高値)
前日終値	118.53
サポート 1	117.41(3/19 安値)



<豪ドル円=3/20 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかし、底値圏での2手連続陽線で反発しており、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、3月20日安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	65.63(3/20 高値)
前日終値	64.25
サポート 1	62.79(3/20 安値)

